

(1) 「過去有仏号威音王神×

(124)×27×0.5 019

堀SD五〇〇一

(2) 「上

(126)×263×3 061

(3) 「計

二

(90)×(103)×1.5 061

(1)は堀の肩部より人名墨書土師器皿とともに出土した。柿経の一部である。『妙法蓮華経』常不輕菩薩品第二十(『大正新脩大藏経』第九卷五一頁)の文言を記したものである。

(2)(3)は堀中より人名墨書土師器皿と共に出土した。(2)は折敷の底板である。外面中央に墨書されている。(3)は三宝である。脚部の外面、宝珠形の透かしの横に墨書されている。

木簡の釈読については奈良国立文化財研究所の館野和己氏・吉川聡氏・馬場基氏、兵庫県立歴史博物館の小林基伸氏のご教示をいただいた。

## 9 関係文献

兵庫県教育委員会『ひょうごの遺跡』二二(一九九六年)

同『平成八年度 年報』(一九九六年)

同『平成九年度 年報』(一九九七年)

(西口圭介)

## 木簡研究 第二二号

巻頭言—WEB版木簡データベースの公開に思う— 石上英一

概要 平城京跡右京七条一坊十五坪 秋篠・山陵遺跡 葉師寺旧境内 藤原京跡右京六条四坊北西坪 大藤原京跡左京北五条三坊南西坪 飛鳥池遺跡 飛鳥池東方遺跡 飛鳥東垣内遺跡 川原寺跡 吉備池廃寺 長岡宮跡 平安京跡左京三条三坊十五町 平安京跡左京七条二坊八町及び本園寺 鳥羽遺跡 鳥羽離宮跡 大藪遺跡 興戸宮ノ前遺跡 武者ヶ谷遺跡 河守遺跡 難波宮跡 大坂城下町跡 長保寺遺跡 溝昨遺跡 玉櫛遺跡 釣坂遺跡 加都遺跡 豊岡城館遺跡 岩井枯木遺跡 宮内黒田遺跡 姫路駅周辺第四地点遺跡 古網干遺跡 六太A遺跡 櫛田地区内遺跡群奥ノ垣内地区 内垣外遺跡 宇津宮辻子幕府跡 汐留遺跡 江戸城外堀跡(四谷御門外橋跡・御堀端通・町屋跡) 法光寺跡 白鷗遺跡 池之端七軒町遺跡 浅草寺遺跡 上千葉遺跡 宮町遺跡 小谷城跡(伝知善院跡) 尾上浜遺跡 屋代遺跡群(北陸新幹線関係) 榎田遺跡 一本柳遺跡 市川橋遺跡 柳之御所遺跡 志羅山遺跡 後田(旧月記) 遺跡 洲崎遺跡 福井城跡(1) 福井城跡(2) 神野遺跡 堅田B遺跡 広坂遺跡 中保B遺跡 東木津遺跡 栃谷南遺跡 榎井A遺跡 下ノ西遺跡 壱本杉遺跡 砂山中道下遺跡 下町・坊城遺跡C地点 船戸川崎遺跡 三田谷I遺跡 熊山田散布地 岡山城二の丸(中国電力変電所)遺構 新道(清輝小)遺跡 米田遺跡 百間川米田遺跡 四日市遺跡 下上戸遺跡 長登銅山跡 観音寺遺跡 平田七反地遺跡 元岡遺跡群 一九七七年以前出土の木簡(一一) 平城京跡左京二条二坊十坪 釈文の訂正と追加(一一) 長岡京跡(一八号) 東浅香山遺跡(二〇号) 伊興遺跡(一九号) シンポジウム「長屋王家木簡をめぐって」の記録 削屑からみた長屋王家木簡:渡辺晃宏、長屋王家の米支給関係木簡:勝浦令子、長屋王家の経済基盤と荷札木簡:楠木謙周、討論のまとめ:東野治之 木簡の撮影 書評 今泉隆雄著『古代木簡の研究』 井上直夫 森 公章 頼価 五五〇〇円 送料六〇〇円